

令和08年09月30日

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称		座間市の安全、快適、地震に強い下水道づくり(重点計画)													
計画の期間		令和03年度 ～ 令和07年度 (5年間)										重点配分対象の該当		○	
交付対象		座間市													
計画の目標		①座間市下水道総合地震対策事業計画に基づき、緊急輸送路の耐震化(人孔部の可とう管化)を図る。													
		②神奈川県一次指定の緊急交通路線以外の軌道横断、河川横断、緊急輸送路から防災避難所までの経路の耐震化を進める。													
		③内水被害を含む下水道による都市浸水対策達成率を向上させる。													
全体事業費(百万円)		合計 (A+B+C+D)		430	A	430	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／ (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R03当初)	(R05末)	(R07末)
1	緊急交通路線の地震対策率を44%(R03)から45%(R07)に増加			
	緊急輸送路耐震化率 重要路線全体延長L=108km	44%	44%	45%
	重要路線耐震化延長(km)／重要路線全体延長(km)			
2	軌道横断、河川横断、緊急輸送路から防災避難所までの経路についての、整備基本計画策定、耐震診断、実施設計を0%(R03)から100%(R07)に増加			
	整備基本計画策定、耐震診断、実施設計の実施 全体面積A=1,252ha 計画延長L=2km	0%	50%	100%
	実施面積(ha)／全体面積(ha) 実施延長(km)／計画延長(km)			
3	都市浸水対策達成率を34%(R03)から36%(R07)に増加			
	都市浸水対策達成率 事業認可面積A=1,267ha(雨水)	34%	35%	36%
	雨水整備面積(ha)／事業認可面積(ha)			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
座間市国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A07-001～A07-004、A07-007												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	座間市	直接	座間市長	管渠（ 污水）	改築	座間市下水道総合地震対 策事業	マンホール耐震化_L=0.07km	座間市内	■	■	■	■	■	111		未策定
	A07-002	下水道	一般	座間市	直接	座間市長	管渠（ 污水）	－	座間市下水道総合地震対 策事業	基本計画策定 A=1,252ha	座間市内	■					12		未策定
	A07-003	下水道	一般	座間市	直接	座間市長	管渠（ 污水）	－	座間市下水道総合地震対 策事業	耐震診断、実施設計 L=2.0 km	座間市内			■	■	■	24		未策定
	A07-004	下水道	一般	座間市	直接	座間市長	管渠（ 雨水）	新設	雨水整備総合管理計画	基本計画策定、事業計画策定 A=1,252ha	座間市内	■	■				42		未策定
	A07-005	下水道	一般	座間市	直接	座間市長	管渠（ 雨水）	新設	大塚排水区雨水事業	実施設計、工事_L=0.23km	座間市南栗原四 丁目地内			■	■		85		未策定
A07-006	下水道	一般	座間市	直接	座間市長	管渠（ 雨水）	新設	緑ヶ丘排水区雨水事業	実施設計、工事L=0.40km	座間市緑ヶ丘三 丁目地内				■	■	136		未策定	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	座間市	直接	座間市長	－	－	雨水整備総合管理計画	雨水出水浸水想定区域図、内 水ハザードマップ A=1,757h a	座間市内			■	■		20		未策定
											小計						430		
											合計						430		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
「座間市上下水道局社会資本整備総合整備計画に関する評価実施要領」に基づき、定量的指標の達成状況について、担当所管にて評価を実施した。	令和8年度
	公表の方法 市ホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	1. 緊急交通路線の耐震化工事(人孔部の可とう管化)を進めたことにより、地震対策率が増加した。 2. 軌道横断、河川横断、緊急輸送路から防災避難所までの経路についての、整備基本計画策定、耐震診断、実施設計を進めた。 3. 雨水管渠の整備を進めたことにより、都市浸水対策達成率が微増した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	2. 下水道総合地震対策計画を策定した。また、耐震診断により耐震工事が必要な箇所を把握することができた。
○特記事項（今後の方針等）	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	45%	下水道総合地震対策計画を策定し、その計画どおりに事業実施したため、目標値と実績値に差が生じた。
	最 終 実績値	44%	
2			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
3			
	最 終 目標値	36%	雨水管理総合計画を策定し、その計画どおりに事業実施したため、目標値と実績値に差が生じた。
	最 終 実績値	34%	

〔参考様式〕 参考図面

